



ハイグレード無方向性電磁鋼板能力の追加投資を決定

日本製鉄株式会社（以下、日本製鉄）は、2050年カーボンニュートラル社会の実現に向けて「日本製鉄カーボンニュートラルビジョン 2050」を掲げ、経営上の最重要課題としてCO₂排出量の削減に取り組んでいます。

このような中、日本製鉄は既に公表している電磁鋼板能力・品質向上対策に加え、新たに瀬戸内製鉄所阪神地区（堺）・九州製鉄所八幡地区において更なる無方向性電磁鋼板（以下、NO）の能力増強対策を実施することを決定しました。既公表の対策を含めた投資額は、累計で約2130億円となります。今回新たに公表する能力増強対策は2027年度上期にフル効果を発揮し、エコカー向けNOの生産能力は現行の約5倍（既公表対策に対して約1.6倍）となる予定です。

自動車に対するCO₂排出規制や平均燃費規制の厳格化を受け、今後エコカー需要の伸びが期待されています。このような動きの中で、モータの鉄心として使用されるNOについても、高効率なハイグレード材の需要が飛躍的に伸びる見通しです。

このように、グローバルなカーボンニュートラルの実現に向けて増加するより高度な要求に、本投資を通じて応えてまいります。

モータの高効率化や送配電網におけるエネルギーロス削減に寄与する「高効率電磁鋼板」は、社会におけるCO₂排出量の削減に貢献する高機能製品・ソリューション技術を総称するブランド「NSCarbolex[®] Solution」の対象製品であり、日本製鉄は高効率なハイグレード電磁鋼板の安定的な供給を通じて、これからも社会の発展に貢献していきます。

■電磁鋼板 能力・品質向上対策の概要（既公表分含む）

・投資額：

2019年8月1日公表	九州製鉄所八幡地区	460億円
2019年11月1日公表	瀬戸内製鉄所広畑地区	140億円
2020年5月8日公表	九州製鉄所八幡地区	100億円
2020年11月6日公表	瀬戸内製鉄所広畑地区	350億円
2021年11月2日公表	瀬戸内製鉄所広畑地区	190億円
2023年5月10日公表	瀬戸内製鉄所阪神地区（堺）・九州製鉄所八幡地区	900億円（今回公表）
合計		2130億円

- ・投資設備：瀬戸内製鉄所阪神地区（堺）・九州製鉄所八幡地区における酸洗・冷間圧延・焼鈍等の電磁鋼板設備
- ・立上時期：2027年度上期フルアップ
（エコカー向け NO 生産能力：対現行 約 5 倍、対既公表能力 約 1.6 倍）

（参考）NSCarbolex[®] Solution

NSCarbolex[®] Solution は、社会における CO2 排出量削減に寄与する高性能製品・ソリューション技術を総称する日本製鉄のブランドです。

<https://www.nipponsteel.com/product/nscarbolex/solution/>



以 上

お問い合わせ先 : 総務部広報センター 電話 03-6867-2135、2146、2977、3419

Make Our Earth Green



NIPPON STEEL
Green Transformation
initiative